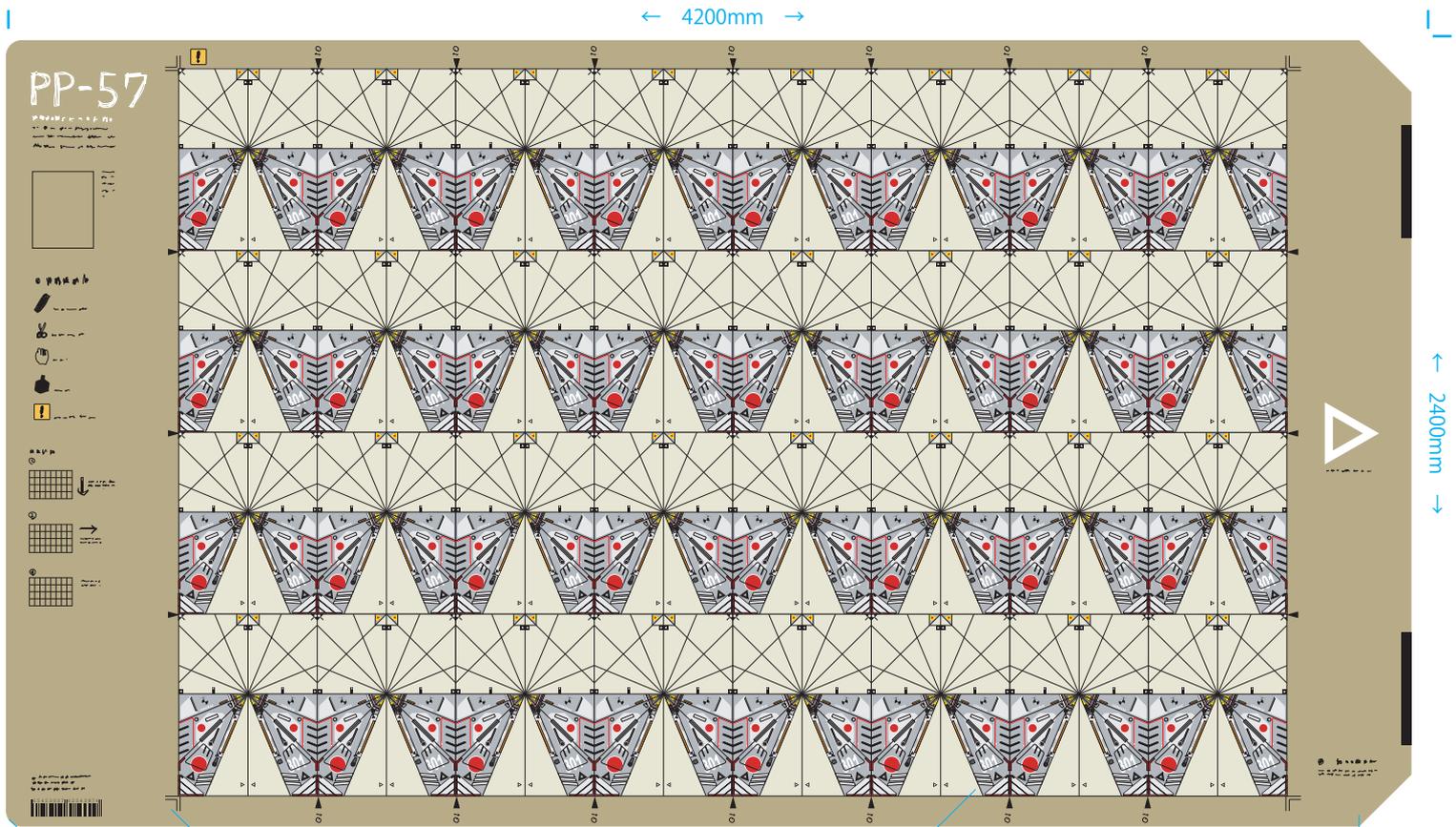


section 1



▲ 作品外観(表) ▲

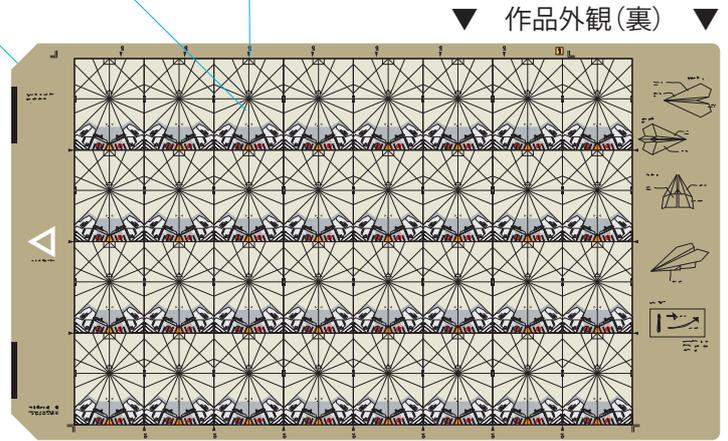
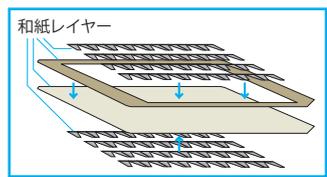
シートの上左下の角にはアールを
右上下は45度にカットし、工業製品の意匠を演出

▲ 作品外観(裏) ▼

32機分面付けされた紙飛行機

作品外枠部分には、このシートのシリアルナンバーや
紙飛行機の製作方法等の情報が記載されている。

素材： 和紙・水性接着剤・水性塗料・顔料
サイズ： 2400mm×4200mm



※実際の作品における細部のデザインは、作品のコンセプトに影響しない範囲で変更になる場合があります。

『PAX-4』展とは？

展示の中心は、表裏のある1枚の大きな和紙である。この平面に描かれた「情報」は、紙飛行機とその外枠に大別され、外枠に記載された手順に従い裁断、折曲を加えると32対の紙飛行機が完成する仕組みとなっている。

作品上にある「情報」は現実に機能し、完成した紙飛行機は実際の飛行能力を持つが、完成する一工程前の工業製品が纏う緊張感、未然の美がこの作品の要である。それは生産過程の時間軸を進めたところには32機の飛行機が滑空され得る、という「機能美」を有するところに起因する。

加えて、展覧会では完成した紙飛行機によるインスタレーションにより、PAX-4の具体性を具現する。また設計段階のブループリントおよび模型、試験機を提示し、展示会場全体で実際の航空機的设计から生産までを再現するところに、本展の狙いがある。航空機産業の発達には戦争に支えられた。洗練の極に達した工業製品に宿る美を、青秀祐は芸術の懐に奪回するのだ。

展示期間：2010年2月20日(土)から3月27日(土)まで ヴェルニサージュ：2月20日(土)3時から5時

展示場所：eitoeiko 〒162-0805東京都新宿区矢来町32-2 開廊12時から7時 月火休

電話：03-6479-6923 URL：http://eitoeiko.com Contact：ei@eitoeiko.com

section 2

設計思想

展示作品を構成する軸となる紙飛行機【PAX-4】の設計思想について説明する。

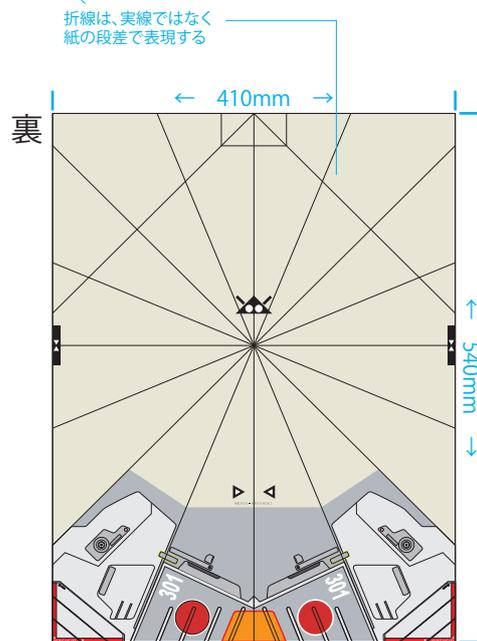
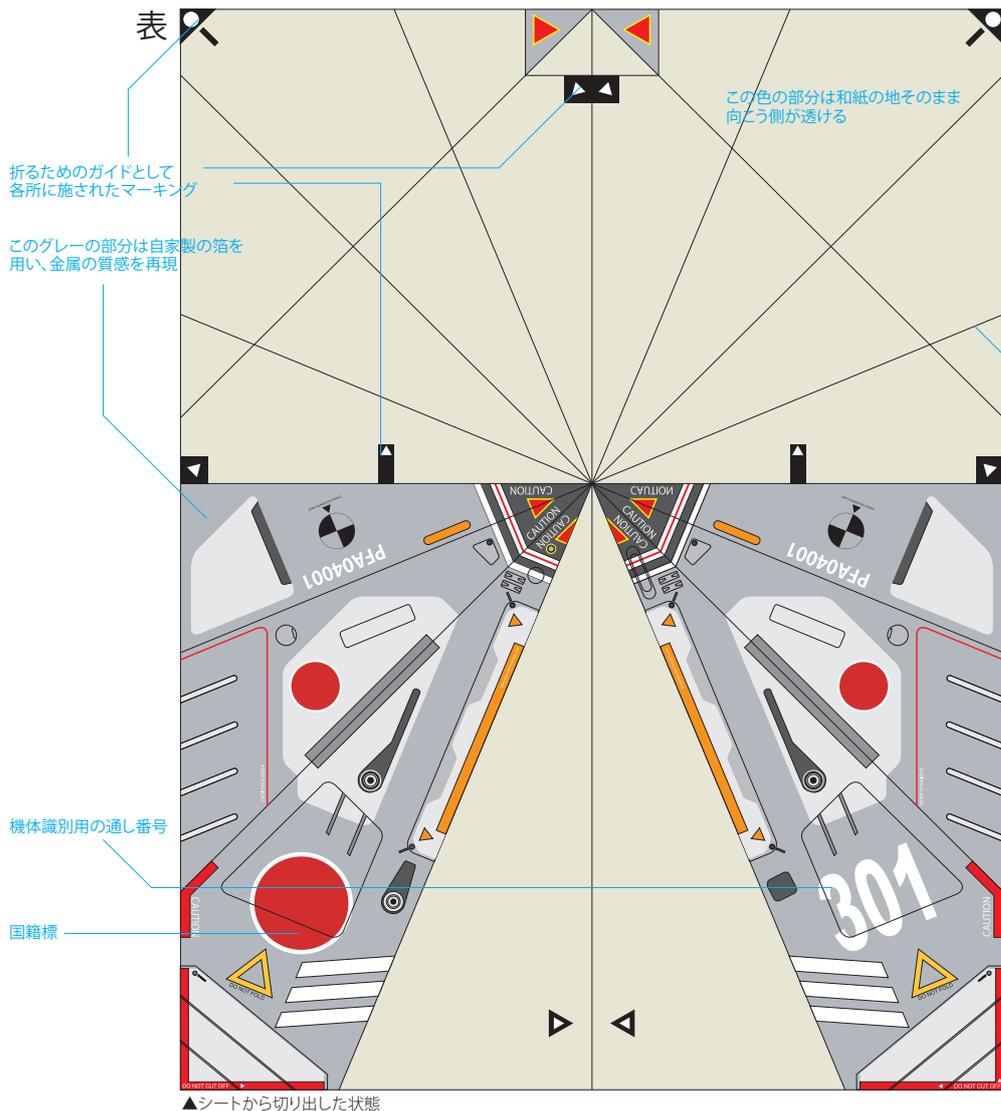
この紙飛行機1枚あたりのサイズは、縦540mm×横410mmである。紙飛行機の飛行性能は、紙の大きさや重さ、そして紙の硬さによって決まる。前項でも説明したとおり、機体の主な素材は極薄の和紙である。この和紙は軽く、かつ柔軟であるため、機体の軽量化と適度な剛性の保持に寄与している。折るための線やガイドのマーキング、機体に施された各装飾はレイヤーの切り抜きと型押し、作家による手製和紙デカールで表現され、紙にできた厚みの差や、微妙な凹凸が航空機としての構造的質感を演出している。下図に示した最も面積の広いメディアムグレーの部分には自作した鉛の箔を使用。金属そのものの質感を与え、塗料を使用した分増加した自重はレイヤーを部分的に肉抜きする事で軽減化を図った。折り方は、安定飛行に優れた「へそ型」を採用した。

折るための線やガイドのマーキング、機体に施された各装飾はレイヤーの切り抜きと型押し、作家による手製和紙デカールで表現され、紙にできた厚みの差や、微妙な凹凸が航空機としての構造的質感を演出している。下図に示した最も面積の広いメディアムグレーの部分には自作した鉛の箔を使用。金属そのものの質感を与え、塗料を使用した分増加した自重はレイヤーを部分的に肉抜きする事で軽減化を図った。折り方は、安定飛行に優れた「へそ型」を採用した。

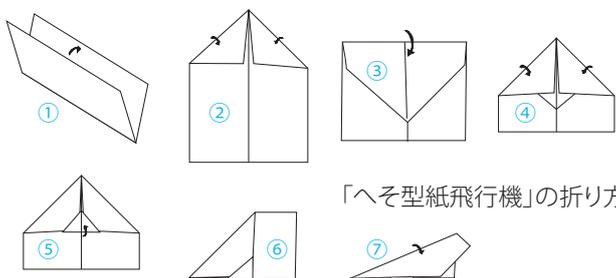
青秀祐(あお・しゅうすけ)

1981年生まれ。横須賀在住。

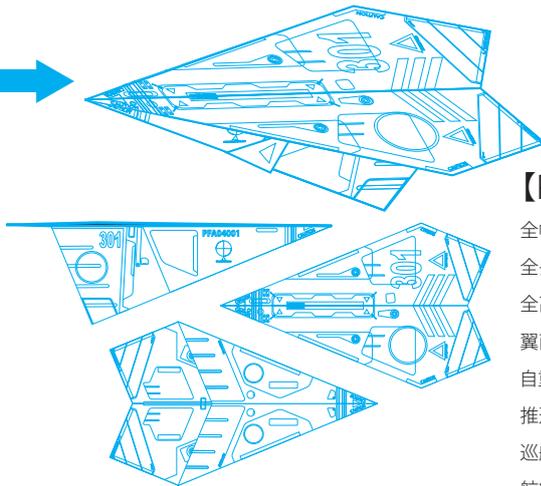
- 2003年個展『脳内棚内部』(小野画廊II)
- 2004年多摩美術大学日本画科卒業
- 2004年個展『man game』(key gallery)
- 2006年個展『FLIGHT』(77studio)



■この紙飛行機は、「へそ型」と呼ばれるオーソドックスな折り方をベースに設計されている。広い面積を持つデルタ翼と、三角形のへそを持つボディ(兼垂直尾翼)が特徴。安定飛行に特に優れ、滞空時間も長い。



「へそ型紙飛行機」の折り方



【PAX-4】 諸元

- 全幅 222mm
- 全長 365mm
- 全高 115mm (主翼無可変時)
- 翼面積 66410mm²
- 自重 2.85g (湿度40%時)
- 推進方法 手投げ
- 巡航速度 2~2.5kt
- 航続距離 4~5m (無風時)